

松崎町DX推進計画(概要版)

計画策定の背景

新しい時代と社会の変化

- ・Society5.0で実現する社会
IoT・AIの発展、新技術の導入
- ・社会構造の変化
少子高齢化、人口減少
- ・予想困難な時代
新型コロナウイルス感染症の拡大、世界情勢の不安定化、物価高騰等

町が抱える課題

- ・少子高齢化と人口減少の進行
- ・コミュニティの再構築の必要性
- ・高齢者等の生活環境の改善
- ・各種産業の担い手不足
- ・社会の変革に対応した新たな産業振興の必要性
- ・役場内のデジタル化・ペーパーレス化の遅れ、職員数の不足

計画の位置付け

第6次松崎町総合計画の下位計画

V コンパッションを共有し、“きょうどう”で進めるまちづくり 第3節 スマート自治体・デジタル化の推進

<目指す姿>

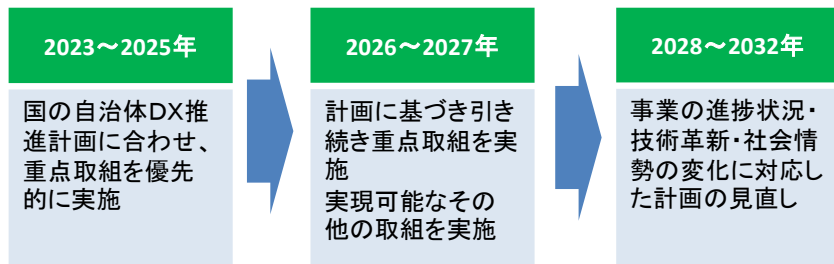
ICTの活用によるスマート自治体の推進により、行政事務の効率化と住民の利便性が向上している。

<目標指標>

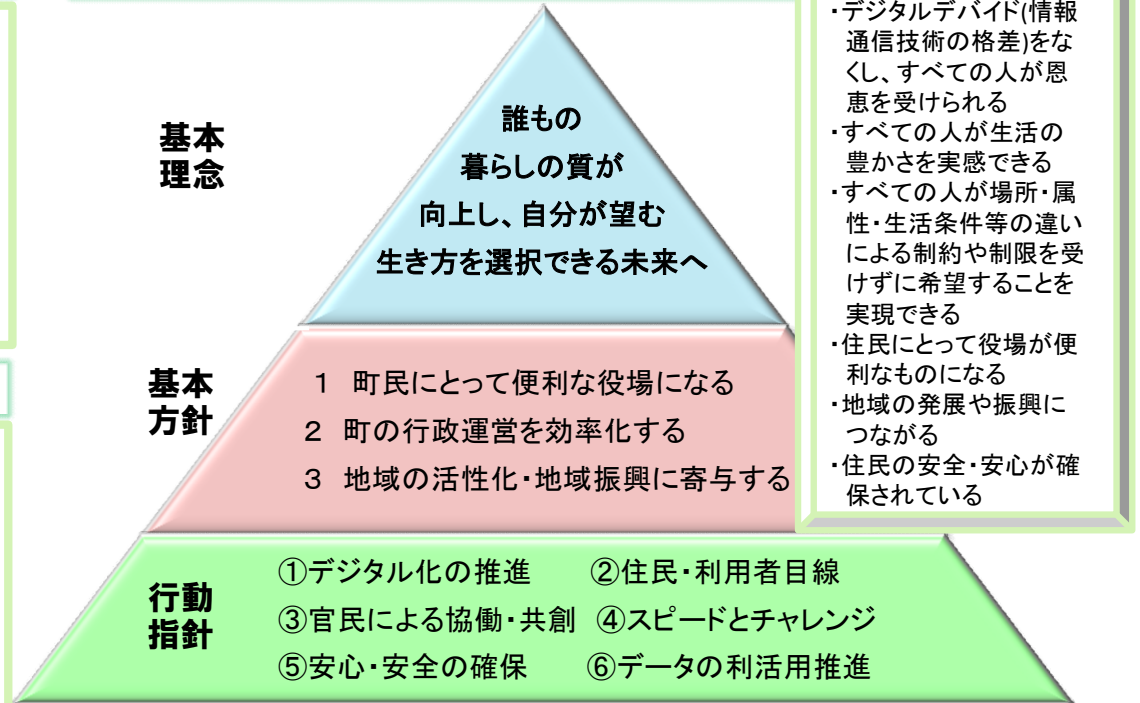
	現状値	2027年	2032年
マイナンバーカード交付率	58.9%	⇒ 75.0%	⇒ 85.0%
スマートフォン利用率	72%	⇒ 85%	⇒ 95%

計画期間

令和5年度(2023年)から令和14年度(2032年)までの10年間



基本理念・基本方針・行動指針



デジタル化の概念

区分	経済産業省「DXレポート2」	ふじのくにDX推進計画(総務省「令和3年版情報通信白書」)
デジタイゼーション【Digitization】	アナログ・物理データのデジタルデータ化	組織内の特定の工程を効率化するための、デジタル技術の導入
デジタライゼーション【Digitalization】	個別の業務・製造プロセスのデジタル化	組織内だけでなく、外部環境やビジネス環境を含めたプロセス全体のデジタル化
デジタルトランスフォーメーション【Digital Transformation】	組織横断/全体の業務・製造プロセスのデジタル化、“顧客機転の価値創出”のための事業やビジネスモデルの変革	デジタル技術の活用による新商品の提供や新たなビジネスモデルの開発を通じた社会制度や組織文化の変革

2027年までの重点取組

①マイナンバーカードの利活用促進

<目指す姿>

- ✓第6次総合計画における令和14年度末(2032年)のマイナンバーカードの目標交付率 85.0%
- ✓マイナンバーカードを用いた各種行政サービスをオンライン化する

<取組>

- ✓マイナンバーカード普及のための広報、休日・出張申請受付等の実施
- ✓特定健診等の受診申し込みへのマイナンバーカードの活用
- ✓図書館における書籍貸出しへのマイナンバーカードの活用

②行政手続きのオンライン化・スマート化

<目指す姿>

- ✓マイナンバーカードやSNS等を活用したオンライン申請の仕組みを構築する
- ✓窓口での来町者の負担や手間を軽減し、待ち時間をなくす
- ✓税以外の手数料、施設利用料等、キャッシュレス決済の範囲を拡充する

<取組>

- ✓窓口申請における「書かない窓口」の実現
- ✓特定健診等の受診申し込みや幼稚園の入園手続き等のオンライン申請の導入
- ✓電子入札制度の導入
- ✓町有施設利用申し込み・決済のオンライン手続きの導入
- ✓公金支払いのキャッシュレス決済の導入

③役場内業務のデジタル化・ペーパーレス化

<目指す姿>

- ✓職員が行う手続きは原則としてペーパーレスで行えるようにする
- ✓オンライン申請の導入と併せて紙による業務や管理を減らす

<取組>

- ✓職員が行う申請手続きや決裁等のデジタル化及びペーパーレス化
- ✓職員あての通知(給与明細、源泉徴収票等)のデジタル化及びペーパーレス化
- ✓会計処理の電子決裁及びペーパーレス化
- ✓会議のペーパーレス化の推進(庁内の会議から)
- ✓議会におけるデジタル機器の導入等

④教育におけるDX推進

<目指す姿>

- ✓家庭学習においてICTを利用した学習ができる環境を整備する
- ✓学校・家庭それぞれの学習におけるICT利用の平準化を目指す

<取組>

- ✓家庭学習でのドリル教材の導入
- ✓教員がICT利用に関して質問・相談できるヘルプデスクの設置
- ✓児童の体調管理や宿題確認のオンライン化や学年費支払いのキャッシュレス化

⑤観光におけるDX推進

<目指す姿>

- ✓観光客のニーズにあった施策を実施する
- ✓従来の手法に囚われない新しい観光情報を発信する
- ✓観光客の利便性の向上による観光需要を取り込む

<取組>

- ✓RESAS等のデータを活用し、変化した旅行形態や観光客のニーズの把握と施策の検討
- ✓SNSを活用した観光情報発信の拡大
- ✓町有観光施設におけるスマート化、キャッシュレス化の推進

⑥防災・災害時におけるDX推進

<目指す姿>

- ✓データにより情報を共有・管理し、作業や情報提供の効率化を図る
- ✓電子データにより避難所運営が効率化されている

<取組>

- ✓り災証明の電子申請の導入
- ✓災害情報の共有・整理等の電子化
- ✓被災情報をWebで発信できるシステムの導入
- ✓スマートフォン等を活用した避難所における情報管理や受付手続き等の電子化

⑦デジタルデバйд対策

<目指す姿>

- ✓町民の間でスマートフォンやパソコン等を利用できる人とできない人の格差が生じないようにする
- ✓スマートフォンやパソコン等を使用していない人でもDXの恩恵が受けられる仕組みが作られている

<取組>

- ✓スマートフォン等の操作や利用に関する講習会を実施

推進体制

◎松崎町デジタル推進本部の設置

- 本部長(CIO): 副町長
副本部長 : 総務課長
企画観光課長
本部長 : 教育長、各課長・局長
推進チーム : 各課選出職員(補佐・係長等)

<民間との連携・協働>

- ・包括連携協定に基づくDXの推進
- ・民間事業者によるDXの取組の支援・連携

<人材の確保・育成>

- ・デジタルリテラシーの向上
- ・最新技術の情報収集・学習
- ・変革の意識の醸成
- ・全庁的な職員研修の継続
- ・外部人材の活用

<情報セキュリティ対策>

- ・「地方公共団体における情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」に基づくセキュリティ対策の徹底
- ・個人情報保護の徹底